地域リハビリテーション支援センター指定(平成31年4月)に係る調査票

医療機関名:医療法人財団健貢会 総合東京病院 <u>記入年月日:平成30年 10月 30日</u>

1 病院の概要	
所在地	東京都中野区江古田3-15-2 (区西部二次 医療圏)
開設年月日	平成22年 4月 1日
設置目的	院是 すべては患者さんのために 病院設立の目的 1. 最高の医療技術と最高の医療サービスを提供すること 2. 全世界から患者さんが来る医療のステイタスをつくること 3. 世界的な研究所にすること 4. 職員全員が常に青春を失わない「信念」と「自信」と「希望」が持てる企業体にすること
診療科目	内科・外科・脳神経外科・整形外科・リハビリテーション科・形成外科・美容外科・小児科 耳鼻咽喉科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・皮膚科・放射線科・神経内科・心療内科・精神科・血液内科・泌尿器科・眼科・血管外科・消化器外科・大腸・肛門外科・心臓血管外科・歯科 口腔外科・麻酔科・婦人科
指定医療	東京都指定二次救急医療機関 東京都脳卒中急性期医療機関認定病院
病床数	一般病床 451床(うちリハビリ専門病床 191床)
訪問・通所リハビリ	☑訪問リハビリ(☑医療保険☑介護保険) ☑通所リハビリ(介護保険)
併設施設	居宅介護支援事業所 通所リハビリテーション

2 指定要件の充足状況

診療体制

地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療 体制を有すること

		平成29年度 (年度末時点)		平成30年度 (9月末時点)			
	専従医師	常勤 非常勤	5 2	名 名	常勤 非常勤	4 2	名 名
	(うちリハ	常勤	2	名	常勤	2	名
	専門医)	非常勤	2	名	非常勤	2	名
医療従事	理学療法 士	常勤 非常勤	145 0	名 名	常勤 非常勤	169 0	名 名
者	作業療法	常勤	32	名	常勤	34	名
	士	非常勤	0	名	非常勤	0	名
	言語聴覚	常勤	16	名	常勤	25	名
	士	非常勤	0	名	非常勤	0	名
	ソーシャルワーク	常勤	7	名	常勤	7	名
	従事者	非常勤	0	名	非常勤	0	名
医療施設 施設基準							

|※指定後の診療体制や地域支援を実施する専門スタッフの充足予定等を記入してください。

② 連携体制

他の医療機関、福祉施設等との連携、協力関係を有すること

100 四次100	47 旧 E / M	, MINTOINIC	1, , , , ,			
		平成 2 9	9年度	\rightarrow	平成3 (4月から	
	紹介患者数	6740	人		4085	人
	(うちリハ部門)	382	人		203	人
	逆紹介患者数	6336	人		3312	人
	(うちリハ部門)	636	人		425	人
	紹介率	57. 5	%	\rightarrow	45. 6	%
医療機関との連携	(うちリハ部門)	167. 2	%	\rightarrow	78. 3	%
状況	逆紹介率	57. 5	%	\rightarrow	50. 4	%
7702	(うちリハ部門)	554. 7	%	\rightarrow	258. 9	%
	連携病院数	391	施設	\rightarrow	281	施設
	(うちリハ部門)	120	施設	\rightarrow	57	施設
	連携診療所数	812	施設	\rightarrow	720	施設
	(うちリハ部門)	29	施設	\rightarrow	13	施設
福祉施設等と	連携施設数	24	施設	\rightarrow	17	施設
の連携状況	(うちリハ部門)	1	施設	\rightarrow	1	施設

※急性期、回復期、維持期の流れを踏まえたリハビリテーションにおける連携状況を記入してください。

脳卒中地域医療連携パス・大腿骨頚部骨折地域医療連携パスをはじめ、連携パスを 用いて患者の転院を早期に受け入れ、回復期のリハビリテーションを提供している。 また、MSWが生活期・介護施設と情報共有を行い、地域との連携を図っている。

③ 相談体制

地域の医療機関、福祉施設等からのリハビリテーションに関する相談等に応じ、必要な情報を 提供できる体制にあること

相談窓口設置の有無	取組状況
有	医療福祉相談課に医療ソーシャルワーカー7名、地域連携担当部門を 設置し、医療機関だけでなく、介護・福祉施設、地域のケアマネ ジャーなどからの相談に対応している。

④ 研修体制

地域のリハビリテーションに携わる従事者、家族の会、又はボランティア等関係団体に対し、 必要な研修を実施できる体制にあること

研修実施の有無	取組状況
有	直近では地域のリハビリテーション関連において下記の通り、当院医師・セラピスト等が講師を行っている。 平成25年~ かかりつけ医リハビリテーション普及推進事業 研修会平成25年6月 中野区摂食・えん下機能支援推進事業 平成25年10月 脳卒中地域医療連携パス協会 市民公開講座 平成25年12月 中野区摂食・えん下機能支援講演会 平成27年10月 中野区歯科医師会研修会 中野区薬剤師会研修会 中野区在宅療養講演会 平成28年6月 中野区主催 介護予防に役立つリハビリテーション講座 平成29年8月 中野区主催 介護予防に役立つリハビリテーション講座 平成29年11月 東京都理学療法士協会区西部・西南部ブロック学術集会 平成30年6月 東京都理学療法学術大会 ※平成30年度は病院市民公開講座を月に1回程度、リハビリテーション医師、セラピストが担当している。

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

Ι	事業実施体	卜制等	;									
	医療機関名	i										
1			医	療法人財	団健」	貢会	総合	東京病院				
	二次保健医	療圏	名									
2	区西部 事業実施予定年月日											
	事業実施予	定年	月日									
3	平成31年4月1日から平成34年3月31日まで											
	事業実施予			を記入して	くださ	い						
			二次保健医療圏内					二次仍	<mark>保健医療圏外</mark>			
4		新宿	百区 杉並区 中野	译区			目黒区 世田谷区 渋谷区					
	地域リハビ	・リテ-	ーション支援セン	ターの運	営体制	削(予	テ 定)					
	設置場所				景法人			会 総合東京病				
5			・医師	常勤非常勤	J :	1	名 名 2	• 言語聴覚士	非吊事	助:	1	名 名
5	職種・人		(うちリハ専門医)	常勤非常勤	J :	1	名 名 2	ソーシャルワーカー等	- 非常里	助 :	2	名 名
	(H31. 4. 1現在)		・理学療法士	常勤非常勤	J :	2	名 名	・事務職員	常業非常難	功 :	2	名 名 2
			・作業療法士	常 勤 非常勤		1	名 名	• その他	常		1	名 名
	予定する連	携施	設 ※連携施設が	复数ある場	合は、	別紙に	こよる	説明可				
	連携予定					没名和	ケ・ア	f在地・連携内				
			・介護施設名)	(所在		<u>.</u>	` 	(連携内	7容)			
6	有	特別養ケアハ	:人保健施設 リハビリ 護老人ホーム 江古田 ウス 江古田の森 ハビリテーションセン	田の森	中野[中野[中野[区区东	協 協 協	の無 弱議会への参加、 弱議会への参加、 弱議会への参加、 弱議会への参加、	支援事業の企画 支援事業の企画	i・運営 i・運営	•	
		訪問リ	ハビリテーション 🏻	[古田の森	中野			議会への参加、				
	予定する協	力施	設 ※協力施設が	复数ある場	合は、	別紙に	こよる	説明可				
	協力予定			協力予	定施	没名和	尓・所	f在地・連携内]容			
			・介護施設名)	(所在				(協力内	河容)			
7			恵会医科大学付属病院 ービスセンターゆずり		港区 中野[『 『議会への参加,』	支援事業の企画	· 運営		
	有	障害者	グループホームやまり	⊅ り	中野[<u>X</u>	協	系議会への参加,	支援事業の企画	・運営	•	
	1.4	居宅介	・ービスセンター 江古 護支援事業所 江古日	日の森	中野[<u>X</u>	協	孫議会への参加、 孫議会への参加、	支援事業の企画	・運営	•	
			パーステーション 江さ 護ステーション 江さ		中野[協議会への参加、 協議会への参加、				

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性(東京都保健医療計画)】 <計画期間: 平成30年4月1日から平成36年3月31日まで>

地域リハビリテーション支援体制の充実

今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域 リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化

地域リハビリテーション関係者の連携強化

地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状と課題について 意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進する。

災害時リハビリテーション支援体制の構築

大規模災害発生後、被災者に対する生活不活発病予防、居住環境や福祉用具等の調整などのリハビリテーション支援ができるよう、支援センターを中心に、地域の関係機関と連携し、災害時リハビリテーション支援体制の構築に取り組む。

I 事業目標(平成31年度から平成33年度まで)

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針(全体目標)

初年度より、在宅系リハビリテーションの研修会の充実を図り、リハビリテーションの質の向上に努める、また、研修会等を通して地域の施設間の連携を強化していく、2年目以降は地域のリハビリテーションに関する課題・問題点を把握し、地域のリハビリテーション関係者のニーズに即した研修会を開催するなどし、在宅系リハビリテーションに関わるスタッフの技術・知識向上に貢献する.

※各項目の取組目標は次頁以降に記載

п		実施内容等(必須の役割)	※全センター共通	スペースが足りない場合は、別紙での説明可								
	地域	リハビリテーション力の向上	=									
1	(1)	<mark>取組目標</mark> 症例検討会・講習会など を習得できる場を設け、地		リハビリテーションに係る知識・技術 向上を図る。								
		PT·OT·ST等対象の _犯	症例発表会など【連携施設の	活用可】								
		実施予定回数		·一マ (予定)								
	(2)	2 回/31年度		既存の部会とも連携し、症例検討会や ラピストが疑問を解決できる研修会を								
		4 回 (平成32・33年度)		同上								
		かかりつけ医へのリハビリ	テーション知識・技術情報提	供【連携施設の活用可】								
•		実施予定回数	7	-ーマ (予定)								
	(3)	1 回/31年度	各地区医師会・歯科医師会 テーションに関する、知識	と連携し、講演会を通してリハビリ ・技術情報を提供する。								
		2 回 (平成32・33年度)		同上								
		地区医師会や地域の関係団体										
		(有)・無		中野区歯科医師会、中野区薬剤師会								
		これまでの取組状況	東京都理学療法士協会区西部・西									
	(4)	・中野区摂食えん下機能支持 ・中野区医師会、薬剤師会ョ ・かかりつけ医リハビリテー ・東京都災害時リハビリテー										
	訪問	訪問・通所リハビリテーション分野への支援										
		取組目標										
	(1)	リハビリテーション専門 やリハビリテーションにつ ションの普及に努める。	職と介護事業者、ケアマネミ いての相談・支援を行うこ。	ジャーとの交流の場を設け、情報交換 とにより、介護分野でのリハビリテー								
			ジャーとの交流の場の設定【									
		実施予定回数		取組予定内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
	(2)	1 回/3 1 年度		護事業者やケアマネジャーに訪問・通 芯・活用方法の理解を深めてもらう。 見える連携を構築する。								
2		2 回 (平成32・33年度)		同上								
		ケアマネジャーへの研修【選 実施予定回数		为如文中内家 								
		关		取組予定内容 強会の開催など、リハビリテーション								
		1 回/3 1 年度	分野に係る情報提供を行って	ていく。								
	(3)	2 回 (平成32・33年度)	連携し、勉強会を実施してい									
		地区医師会や地域の関係団体										
		有・ 無	(団体・施設名)中野区医師会、	中野区歯科医師会、中野区薬剤師会								

東京都理学療法士協会区西部・西南部ブロック

無

		<u>ケマプニン.担談士授『</u> 海惟女	いの注用すり						
		ケアプラン相談支援【連携旅 相談受付方		相談受付日					
	(4)	電話・FAX・メ		月曜日から土曜日					
	(5)	これまでの取組状況							
2		当院退院前の自宅訪問、追 院のセラピスト・MSWが協力			-・介護事業者等と当				
		平成30年度	上半期(4月~9月)	のケアプラン相談支援受	:付実績				
			約28	50件					
	地域	リハビリテーション関係者と	の連携強化						
		取組目標							
	(1)	地域でのリハビリテーショ し、リハビリテーションの5			の見える関係を構築				
		設置を予定する地域協議会							
	(2)	名称		施設(参加予定職種)	実施予定回数				
3		地域リハビリテーション 協議会	新宿区・中野区・杉並区 新宿区・中野区・杉並区 新宿区・中野区・杉並区 新宿区・中野区・杉並区 新宿区・中野区・杉並区	区 歯科医師会 (歯科医師) 区 役所 (事務) 区 保健所 (保健師)	1回/31年度				
			ネジャー等)		2回(3年間計)				
		これまでの取組状況							
	(3)	地区医師会との連携の会の)開催やリハビリテ・	ーションについての講演を	行っている。				
ш	事業第	実施内容等(選択する役割)	スペースが足りない	場合は、別紙での説明可				
	区市	町村による在宅リハ支援事業	等への支援 ※地	地域リハ支援事業委託料からの支出不可					
	支援	予定 実施自治体名		支援内容					
1	4	中野区	摂食	・えん下機能支援推進事業	業への協力				
	これ	までの取組状況							
	中野区摂食・えん下機能支援推進事業研修会の運営協力・講師派遣								

	脳卒中医療	連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可									
	支援予定	支援内容									
2	を										
	これまでの	これまでの取組状況									
		東京都脳卒中地域連携パス合同会議の運営・参 脳卒中地域医療連携パス協会の運営協力、公開講座への座長									
高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不											
3	支援予定	支援内容									
	有 リハビリテーションの立場で関係機関・団体からの相談窓口の設置。地域の関係者に研 無 修と啓蒙活動を行う。										
	これまでの	これまでの取組状況									
	東京都総合高次脳機能障害研究会における研修会の企画・運営への参加										
	地域で特に	:ニーズの高いテーマに関する研修等(その1) 区分	実施予定								
		运 刀	<u> </u>	.							
	(1) 地域(のリハビリテーション従事者の研修、援助	有・無	予定有							
	(2) 直接地	地域住民と接する相談機関の支援	有・無	とした							
4	(3) 福祉原	用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	有・無	項目につ							
	(4) 地域(の関係団体の支援	有・無	いては							
	(5)連絡部	会、事例検討会の実施	有・無	次頁も記							
	(6) その(也、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	有・無	記入							

地域	で特にニーズの高いテーマに関	する研修等(その2)										
	地域のリハビリテーション従事											
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数							
(1)	災害リハビリテーションにつ いての知識の習得	災害リハビリテーションにつ いての知識の提供	研修会の実施	全職種	3回 (3年間)							
	これまでの取組状況											
	直接地域住民と接する相談機関	直接地域住民と接する相談機関の支援										
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数							
(2)	リハビリテーションの制度に つての知識の習得	リハビリテーションの制度に ついての知識の提供	講習会の実施	地域住民	3回 (3年間)							
	これまでの取組状況											
	福祉用具、住宅改修等の相談へ	の対応に係る支援										
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数							
(3)	福祉用具、住宅改修等の知識 の習得	福祉用具、住宅改修等の知識 の提供	講習会の実施	全職種 地域住民	3回 (3年間)							
	これまでの取組状況											
	地域の関係団体の支援											
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数							
(4)	摂食嚥下についての知識の習 得	摂食嚥下についての知識の提供	研修会の実施	全職種	3回 (3年間)							
	これまでの取組状況											
	連絡会、事例検討会の実施											
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数							
(5)	主に新人セラピストを対象と した症例検討会	症例検討会による発表	症例検討会の開 催	全職種	3回 (3年間)							
	これまでの取組状況											
	その他、地域のリハビリテーシ	/ョンの推進に必要な事業										
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象	実施予定回数							
(6)	地域がら外国人の方が多くみ られるため、対応方法の習得	外国人の方々への対応方法の 提供	研修会の実施	全職種	3回 (3年間)							
	これまでの取組状況											